

歯科口腔外科学

教	授	古	田	勲
助	手	和	田	重
助	手	伊	藤	重
助	手	今	村	知
助	手	姚		代
				立

◆ 原 著

- 1) 和田重人, 河内和美, 古田 勲: 舌強直症の臨床的検討. 富山医薬大医学誌, 14:45, 2002.
- 2) Yao L., Itoh S., and Furuta I.: Thymidine phosphorulase expression in oral squamous cell carcinoma. Oral Oncology, 38:584-590, 2002.
- 3) 和田重人, 古田 勲, 田澤賢次: 誘導磁場加温の歯内療法への応用とその可能性. ザ・クインテッセンス, 21:1127-1130, 2002.
- 4) 和田重人, 前田美代子, 古田 勲: 有病者の歯科口腔外科的診療に関する臨床統計—精神科からの紹介患者について—. 日有病歯誌, 11:85-90, 2002.
- 5) 和田重人, 古田 勲: 口腔内手術におけるフレキシブルメスの有用性. ザ・クインテッセンス, 21:2201-2203, 2002.

◆ 症例報告

- 1) Wada S., Okuda Y., Furuta I., and Terahata S.: Myxoma in the maxilla; Report of a case. Hosp. Dent.(Tokyo), 13:123-125, 2002.
- 2) Wada S., Yue L., Furuta I., and Takazakura T.: Leiomyosarcoma in the maxilla; Report of a case. Int. J. Oral Maxillofac. Surg., 31:219-221 2002.
- 3) Wada S., Furuta I., Takahashi M., and Yamagishi M.: Symmetrical external dental fistula; Report of a case. Hosp. Dent. (Tokyo), 14:41-42, 2002.
- 4) 和田重人, 古田 勲: セファクロル(CCL)による重篤なallergyの1例. 日有病歯誌, 11:21-25, 2002.

◆ 学会報告

- 1) 伊藤重人, 津野宏彰, 井上さやか, 姚 立, 古田 勲: 当科における口腔扁平苔癬の検討 第2報—臨床病理学的検討—. 第20回日本口腔腫瘍学会総会, 2002, 1, 岡山.
- 2) 井上さやか, 伊藤重人, 和田重人, 古田 勲:

口蓋に発生した筋上皮腫の1例. 第20回日本口腔腫瘍学会総会, 2002, 1, 岡山.

- 3) Wada S., Tazawa K., Saito T., Minamimura T., Yamazaki Y., Igarashi K., Furuta I., and Nagae H.: Development of the portable inductive heating system using dextran magnetite complex (DM)-heating characteristics of DM in vitro study-. The 3rd Asian Congress on Hyperthermic Oncology, 2002, April, Zhengzhou, China.
- 4) 小杉弘美, 佐渡忠司, 古田 勲: 上顎臼歯部に発生したエナメル上皮線維歯牙腫の1例. 第56回日本口腔科学学会総会, 2002, 5, 大阪.
- 5) 金 佳美, 古田 勲, 高櫻武史, 山岸美智子, 和田重人: 16年後, 下顎原発から上顎に再発したエナメル上皮腫の1例. 第56回日本口腔科学学会総会, 2002, 5, 大阪.
- 6) 高橋勝雄, 古田 勲, 前田美代子, 椎名美子, 河内和美, 今村知代, 和田重人: 左側顎下部に発生した汗孔腫の1例. 第56回日本口腔科学学会総会, 2002, 5, 大阪.
- 7) 山崎隆志, 古田 勲, 井上さやか, 伊藤重人, 和田重人: 転落事故による顎関節強直症により6年間摂食障害を呈した学童の1例 第1報: 形態ならびに機能の改善. 第56回日本口腔科学学会総会, 2002, 5, 大阪.
- 8) 井上さやか, 古田 勲, 伊藤重人, 今村知代, 伊藤静代: 転落事故による顎関節強直症により6年間摂食障害を呈した学童の1例 第2報: 強度な開口障害が学童に及ぼした各種機能評価の検討. 第56回日本口腔科学学会総会, 2002, 5, 大阪.
- 9) 和田重人, 高櫻武史, 井上さやか, 高橋勝雄, 山秋洋人, 金 佳美, 古田 勲: 口腔癌に対するNeoadjuvant chemotherapyとしてのネダプラチン・ドセタキセル併用化学療法の初期評価. 第15回富山癌治療懇話会, 2002, 5, 富山.
- 10) 和田重人, 高櫻武史, 井上さやか, 高橋勝雄, 山秋洋人, 金 佳美, 古田 勲: 新規抗癌剤ネダプラチン・ドセタキセルによる口腔癌術前化学療法の初期評価. 第27回日本口腔外科学会中部地方会, 2002, 7, 三重.
- 11) 津野宏彰, 和田重人, 井上さやか, 高橋勝雄, 伊藤重人, 古田 勲: 原発巣に放射線治療が奏功したBasaloid squamous cell carcinomaの2例. 第27回日本口腔外科学会中部地方会, 2002, 7, 三重.
- 12) 山秋洋人, 古田 勲, 井上さやか, 前田美代子,

- 和田重人：てんかん患者における下顎骨骨折の1例。第27回日本口腔外科学会中部地方会，2002，7，三重。
- 13) 前田美代子，今村知代，椎名美子，古田 勲，供田文宏，高田正信：歯周疾患における口腔内アンモニア測定の意義～健常人での検討～。第5回日本呼吸病態生化学研究会学術大会，2002，7，大阪。
- 14) 金 佳美，今村知代，古田 勲：三叉神経痛の臨床統計。第16回日本歯科麻酔学会中部地方会，2002，7，長野。
- 15) 高櫻武史，高橋勝雄，伊藤重人，古田 勲：放射線照射症例におけるインプラントの検討。第32回日本口腔インプラント学会総会，2002，9，広島。
- 16) 山秋洋人，高橋勝雄，高櫻武史，伊藤重人，古田 勲：再結晶化アパタイトインプラントの臨床的検討。第32回日本口腔インプラント学会総会，2002，9，広島。
- 17) 田澤賢次，斎藤智宏，和田重人，長野 勇，冨田美乃則，長江英夫：Dextran magnetite(DM)粒子を用いる組織内誘導加温法の基礎と臨床応用。第19回日本ハイパーサーミア学会，2002，9，愛知。
- 18) 和田重人，古田 勲：末期口腔癌患者における気管切開術—特に施術の適正時期について—。第45回日本口腔科学会中部地方会，2002，9，福井。
- 19) 山本晶子，古田 勲，伊藤重人，津野宏彰，高櫻武史，和田重人：下顎関節突起骨折の臨床統計的観察—治療成績に関わる因子の比較検討—。第45回日本口腔科学会中部地方会，2002，9，福井。
- 20) 高田 晋，伊藤重人，高櫻武史，古田 勲：上顎洞根治術と同時インレーグラフト後，インプラントによる咬合再建を行った1例。第45回日本口腔科学会中部地方会，2002，9，福井。
- 21) 高櫻武史，高屋憲一，高島秀樹，藤森俊雄：ヒト下顎骨新鮮凍結乾燥超薄切片の透過型電子顕微鏡とイオン顕微鏡観察。日本解剖学会第62回中部支部学術集会，2002，10，富山。
- 22) 前田美代子，古田 勲，高櫻武史，井上さやか，伊藤重人：顔面半側骨削除術を施行した線維性骨異形成症の一例～学童期より成人期までの12年間にわたる中長期的経過観察～。第47回日本口腔外科学会総会，2002，10，北海道。
- 23) 金 佳美，古田 勲，井上さやか，高橋勝雄，山岸美智子，山崎隆志，和田重人：構造障害を伴った巨大な多形成腺腫の1例。第47回日本口腔外科学会総会，2002，10，北海道。
- 24) 山岸美智子，井上さやか，金 佳美，伊藤重人，和田重人，古田 勲，小野 繁：急激に腫大した成人耳下腺嚢胞状リンパ管腫の1例。第47回日本口腔外科学会総会，2002，10，北海道。
- 25) 今村知代，山崎隆志，古田 勲，遠藤俊郎：三叉神経痛の臨床統計。第47回日本口腔外科学会総会，2002，10，北海道。
- 26) 高橋勝雄，古田 勲，山秋洋人，高櫻武史，伊藤重人，小野 繁：Central pedicled nasolabial flapを用い審美的回復をはかった上顎癌の3例。第47回日本口腔外科学会総会，2002，10，北海道。
- 27) 姚 立，伊藤重人，古田 勲：T1-T2舌癌におけるEts-1の発現に関する検討。第47回日本口腔外科学会総会，2002，10，北海道。
- 28) 山秋洋人，高橋勝雄，高櫻武史，伊藤重人，古田 勲：再結晶化アパタイトインプラントの臨床的検討。第6回日本顎顔面インプラント学会，2002，11，北海道。
- 29) 高櫻武史，高橋勝雄，伊藤重人，古田 勲：放射線照射骨におけるインプラントの臨床的検討。第6回日本顎顔面インプラント学会，2002，11，北海道。
- 30) 山本晶子，和田重人：当科における関節突起骨折の臨床的検討。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- 31) 前田美代子，山岸美智子：歯周疾患における口腔内アンモニア測定の意義。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- 32) 高橋勝雄：オトガイ部に発生した汗孔腫の1例。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- 33) 山秋洋人：再結晶化アパタイトインプラントの検討。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- 34) 高櫻武史：放射線照射骨に対するインプラントの適応。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- 35) 高田 晋，伊藤重人：上顎洞内インレーグラフトと咬合再建。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- 36) 今村知代：当科における三叉神経痛患者の検討。第9回アルペン口腔科学フォーラム，2002，11，富山。
- ◆ その他
- 1) 古田 勲：インプラントの進歩。下新川郡・魚津市医師会合同学術講演会，2002，2，富山。
- 2) 古田 勲：先進医療—できもの。週刊朝日，2002，5，東京。

- 3) 伊藤重人, 津野宏彰, 井上さやか, 姚立, 古田 勲: 当科における口腔扁平苔癬の臨床病理学的検討—セファランチンの治療効果を含めて. 第28回アルカロイド研究会, 2002, 6, 大阪.
- 4) 古田 勲: 異物を誤嚥してしまった!! 歯科臨床医リフレッシュセミナー, 2002, 7, 三重.
- 5) 伊藤重人: 骨移植とインプラント. 富山県インプラント研究会, 2002, 8, 富山.
- 6) 古田 勲: 咀嚼障害と誤嚥—対処法の検討—. 第3回北陸言語聴覚学術集会, 2002, 9, 富山.
- 7) 古田 勲: インプラントの症例を通じて. 富山県インプラント研究会, 2002, 10, 富山.
- 8) 古田 勲: 嚥下のしくみと誤嚥. 第9回アルペン口腔科学フォーラム, 2002, 11, 富山.

臨床検査医学

教授 北島 勲
 助教授 小方 則夫
 助手 小澤 哲夫

◆ 研究概要

癌, 生活習慣病, 感染症(エンドトキシン血症)等における転写因子異常からみた分子病態研究

◆ 著 書

- 1) 北島 勲, 劉彦, 丸山征郎: マクロファージにおけるToll-like receptor 2.4の遺伝子発現調節機構. エンドトキシン研究5 (望月英陸, 小野聡, 小玉正智, 横地高志, 谷 徹, 編). 医学図書出版株式会社, 東京, 2002, p152-159.
- 2) 小方則夫: Peptide nucleic acid mediated polymerase chain reaction clamping (PMPC)の開発・応用におけるYMDDモチーフ塩基ダイナミクスの解析. (谷川久一, 他) 肝疾患研究の新しい展開第IV巻, メディカルレビュー社, 大阪, 2002, 8.

◆ 原 著

- 1) Shoji Y, Noguchi A, Shoji Y, Matsumori M, Takasago Y, Takayanagi M, Yoshida Y, Ihara K, hara T, Yamaguchi S, Yoshino M, Kaji M, Yamamoto S, Nakai A, Koizumi A, Hokezu Y, Nagamatsu K, Mikami H, Kitajima I, Takada G: Five novel SLC7A7 variants and y+L gene-expression pattern in cultured lymphoblasts from Japanese patients with lysinuric protein intolerance. Hum Mutat 20(5):375-381, 2002.
- 2) Yamahata H, Takeshima H, Kuratsu J, Sarker KP, Tanioka K, Wakimaru N, Nakata M, Kitajima I, Maruyama I: The role of thrombin in the neo-vascularization of malignant gliomas: An intrinsic modulator for the up-regulation of vascular endothelial growth factor. Int J Oncol 20 (5):921-928, 2002.
- 3) Obara S, Nakata M, Takeshima H, Kuratsu J, Maruyama I, Kitajima I.: Inhibition of migration of human cells by ceribastatin in association with focal adhesion kinase (FAK). Cancer Lett. 185(2):153-161, 2002.
- 4) Nishimura S, Nakata M, Matsuo K, Nakajima T, Kitajima I, Saito H, Maruyama